

令和6年9月30日

保護者様

袋井あやぐも学園
袋井市立袋井西小学校
校長 鈴木 康弘

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果および活用について

本校では、6年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の結果をもとに、本校児童の傾向の把握・分析を行い、一人ひとりに応じた学習指導や授業の改善に活用しています。

今年度の結果につきまして、以下のように概要と今後の対策をまとめましたので、御報告いたします。

1 学力調査と学習状況調査の結果について

- (1) 学力調査 全国平均正答率を「☆☆☆」とした場合の本校児童の正答率
高い☆☆☆☆☆、やや高い☆☆☆☆、やや低い☆☆、低い☆

国語	全体	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
		言葉の特徴 や使い方	情報の 扱い方	我が国の 言語文化	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
	☆☆	☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆
算数	全体	学習指導要領の領域			評価の観点		
		数と計算	図形	変化と関係	データの 活用	知識及び 技能	思考力、判断 力、表現力等
	☆	☆	☆	☆	☆☆	☆	☆

(2) 学習状況調査（児童質問紙）の結果から

【本校児童のよいところ】	全国値との比較
全国と比べて肯定率が高かった主な項目	
◎ 自分には よいところ がある。(強い肯定)	59.7% (+16.3%)
◎ 将来の夢や目標 をもっている。(強い肯定)	70.1% (+9.5%)
◎ 国語の授業で学習したことは 社会に出たときに役に立つ 。	68.8% (+7.0%)
◎ 算数の授業で学習したことを 普段の生活に活用できないか考えている 。	48.1% (+5.8%)
◎ 学校の授業以外で普段(月～金曜日)どのくらい勉強をしますか。(2時間以上)	33.8% (+20.3%)
◎ 授業で ICT機器 をほぼ毎日使用している。	45.5% (+20.2%)
本校の児童の良さは、学校が楽しいと感じていることに加え、自分に良いところがあると思ひ、将来の夢や目標をもっている児童が多い点です。学習については、授業で学んだことが社会で役に立つ、普段の授業で活用できると考えており、学習を生かそうと考えている児童も多いです。また、授業や家庭でのICTの活用が進んでいることが分かりました。	

【本校児童の課題】

全国値との比較

全国と比べて肯定率が低かった主な項目

- ◎ 算数の授業がよく分かる。 37.7% (-7.2%)
- ◎ タブレットなどのICT機器を活用することで自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。 22.1% (-11.2%)
- ◎ 先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。 32.5% (-14.8%)
- ◎ 学校が休みの日に1日どれくらいの時間学習をしますか。 **2時間以上**の割合 11.7% (-10.3%)
- ◎ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている。 19.5% (-19.9%)

本校の児童の課題は、算数の授業よく分かると答える児童が少ないことです。また、タブレットは授業で使用しているものの、それが相手に分かりやすく伝えることにつながっていないと感じていることがわかりました。また、先生は分かるまで教えてくれていると感じている児童が少ないことも課題といえます。家庭では、学校が休みの日の学習時間が少ないことやタブレット等の使い方について家庭での約束が守れていない児童が多いことが課題といえます。

2 「学力調査」の結果から

国 語	算 数
○ <u>話し方の工夫として適切なものを選択</u> することができる。(+5.0%)	○ 問題場面の <u>数量関係を式に表す</u> ことができる。(-0.3%)
○ <u>読書の意義として適切なものを選択</u> することができる。(+3.0%)	○ 円グラフの特徴を理解し、 <u>割合を読み取る</u> ことができる。(-0.5%)
○ 物語を読んで、 <u>心に残ったところとその理由について、物語から言葉や文を取り上げて書く</u> ことができる。(+2.4%)	○ 直方体の <u>見取り図を理解し、かく</u> ことができる。(-1.3%)
● 文章の中で、 <u>正しく漢字を使う</u> ことができていない。(-9.2%)	○ 簡単な表を読み取り、 <u>必要なデータを取り出し、分類整理</u> することができる。(-2.2%)
● 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、 <u>伝え合う内容を検討する力</u> が低い。(-9.9%)	● <u>わる数が小数の計算</u> をすることができていない。(-21.4%)
● 文章の中から <u>主語・述語を捉える</u> ことができていない。(-7.0%)	● 計算に関する性質を活用して、計算の仕方を考え、 <u>求め方と答えを言葉や式を用いて説明</u> できていない。(-14.8%)
● <u>人物像を具体的に想像</u> することができる。(-6.7%)	● <u>円周・直径・円周率の関係について理解</u> していない。(-13.4%)
● 登場人物の <u>相互関係や心情について描写を基に捉える</u> ことができていない。(-6.4%)	● 道のりと時間をもとにどちらが速いかを判断し、 <u>理由を言葉や式で説明する</u> の正ことができていない。(-11.3%)

『効果的であったと思われる取組』

国 語	算 数
○ <u>朝の読書の取組や保護者ボランティアの読み聞かせ</u> から児童が読書の意義を感じることができている。	○ <u>ICT を効果的に活用することで、見取り図などの平面図や立体のイメージ</u> をもって学習に取り組んでいる。
○ 授業の終わりに、キーワードを提示するなどして、学習のまとめを <u>自分の言葉で表現する取組</u> によって、理由を付けて自分の考えを書く力が付いてきている。	○ 表やグラフを読む、問題場面を式に表すことについて <u>繰り返し行い、基本的な数理的な処理の技能</u> を高めている

『本校の児童に付きたい力』

国 語	算 数
<ul style="list-style-type: none">○ただ漢字を書くだけでなく、<u>文章の中で漢字を適切に使う、同じ音の漢字を正しく使い分ける</u>ことができるようにする。○文章のなかで、<u>主語と述語</u>を正しく捉えたり、<u>人物像や登場人物の気持ちや相互関係を読み取る</u>力をつける。	<ul style="list-style-type: none">○四則計算の力を学年を通して積み上げていき、<u>正しく小数のわり算の筆算</u>をする力を付けられるようにする。○「円周・直径・円周率」や「道のり・速さ・時間」といった<u>数量の関係を理解し、計算の過程を説明</u>できるようにする。

学校の取組

- **自分の考えをまとめて表現することができるよう、ICTや思考ツールを活用して、理由をつけて考えたり、分かりやすく伝えたりする活動を授業に取り入れていきます。**
- **子どもどうし話し合いを学習や学校生活に生かすことができるよう、各教科や学級活動では、目的や方法、内容をはっきりさせて話し合い、意見を伝え合う中で、よりよい考えを見つけられる授業により一層取り組みます。**
- **算数の授業では、子どもが「分かった」「できた」と感じられるよう、少人数での指導や複数の教員での指導を進めていきます。また、前学年の学習内容を適切に振り返り、基礎・基本を確実に定着するとともに、学んだことを生かして学習を進めます。**
- **国語の授業では、読解上の向上を図るよう、学年に応じて、主語と述語を正しくとらえたり、指示語に着目したりすることで、人物像や登場人物の気持ちや関係を適切に言葉で表すことができる授業に取り組みます。**



家庭へのお願い

メディアの使い方の約束

規則正しく、安全な生活につながるよう、メディア（携帯電話やスマートフォン、コンピュータ）について、お子さんと使用時間やパスワードの管理等について約束をお願いします。また、約束が継続して守られるよう、お子さんと約束について会話をすることで、お子さん自らが考え、適切な使用ができるよう働きかけをお願いします。



本に親しむ時間

学校でも保護者ボランティアや袋井市図書館員の読み聞かせ等の取組を継続していきませんが、家庭においても親子で一緒に本を読んだり、図書館に行ったりする時間を過ごしてみてください。読書の習慣が、学習への意欲や読解力の向上へとつながっているとの報告もあります。

学習に向かう姿をほめる（ボイスシャワー）

自ら学ぶことを大切に「自選学習」への取り組みを進めています。御家庭では、一緒に考えたり、ほめて認める声掛けをしたりして、お子さんが意欲的に学習できるよう、励ましをお願いします。